

2018年度事業の概要

移動サービスネットワークみやぎの活動目的を、[移動サービスの提供、または、サービスの提供を計画している非営利団体が、相互に協力して移動サービスの向上と普及を図り、情報交換とネットワーク活動により「だれでも、いつでも、どこへでも」移動できる社会の実現に寄与すること]として定め、今後も引き続き移動困難者の立場にたって、移動サービスを推進することとして、活動をすすめてきました。

まず、移動困難者の移動を支える、福祉有償運送の既存の移動サービス団体が活き活きと活動できる環境整備が必要です。

次に、介護保険等の規定に沿ったフォーマルサービスの運営が厳しい中、インフォーマルサービスである福祉有償運送を継続・拡大するためにも、団体同士が交流し、助け合い、フローし合いながら移動サービスを継続的に進めていくことも必要です。そして、地域の連携を強めることで解決出来ることもあります。

今年度は、このような集まりの場づくりも不足で有り、反省しているところです。

高齢者の重大事故の増加を受け、認知症対策を強化した道路交通法の改正がなされました。免許返納者が増大するなかで、公共交通機関が充足していない、もしくは撤退している地域では自動車がなければ生活できません。そのためには、交通空白地有償運送や登録不要の運送整備は今後さらに重要になります。

全国移動ネットとの連携活動として、国土交通省が設置した「高齢者の移動手段の確保に関する検討会」の「中間とりまとめ」後も国土交通省や厚生労働省にたいする制度改善にむけた提言の取り組みに対する活動として、2月にフォーラムを開催し、一定の成果を得ることが出来たと考えます。

現在、すべての自治体で総合事業が導入されましたが、これまで追求してきた「訪問型サービスD」は、県内においてはあまり広がりを見ておりません。

制度設計の問題や交通事業者との調整もあると思いますが、自治体が主体的に推進しなければ、交通と福祉の連携が求められる移動困難者の移動・外出支援は前にはすすみません。地域のなかでどれだけの移動ニーズがあるか。また、移動ニーズを担う社会資源はどれだけあるのか。今後の移動・外出支援の環境整備をするうえでの課題はなにか。自治体はここをしっかりと押さえてほしいと思うので、そのための働きかけを続けていきます。

実施状況報告

1) 支援センター運営

項目	事業計画	実施状況
1) 情報収集及び発信	○ホームページ、メール	○ホームページ 6回更新 ○メール情報発信

2) 認定講習の実施	年 5 回 4 月、6 月、8 月、10 月、 12 月 2 月	○8 回実施 1 回 (6/4) 13 名 セダン車 16 名 2 回 (9/5) 9 名 セダン車 5 名 3 回 (10/22) 11 名 セダン車 5 名 4 回 (11/20) 8 名 セダン車 5 名 5 回 (3/3) 11 名(石巻レラ要請) 6 回 (3/17) 9 名 計 61 名 セダン車 31 名
3) 相談、協力支援	○移動サービスフェスタ ・ウェルフェア 2017 ○相談・支援活動 ○会員拡大	●なし ●なし ●なし
4) 政策提言	○宮城県、各市町村との意見交換会 ○平成 30 年度宮城県地域支え合い生活支援推進連絡会	●なし ○第 1 回 6 月 8 日仙台ガーデンパレス 話題提供 移動支援の現況について ○第 2 回 2 月 7 日 パレス宮城野
5) 各種研修会	○「訪問型サービス D」について 移動支援フォーラム ○有償運送運転者講習インストラクター養成講座 ○デイサービス等送迎運転者講習	○2 月 8 日(みやぎ婦人会館) 参加者～78 名 会員団体参加者～17 名 合計 95 名 経過内容～別紙 ●未実施 ●未実施
6) 震災復興支援活動	○被災団体への支援	●無
7) 調査活動		●無

●は未実施施策

2) 組織関連活動

1) 総会開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常総会 (6月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日時 2018年7月1日(日) 15:30~14:30 会場 みやぎNPOプラザ第二会議室 <出席者数:13名 委任状7名 欠席:0名 会員数:24名>
2) 理事会開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年2 ・ 9月・3月 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日時 2017年6月3日(土) 15:30~17:30 会場 みやぎNPOプラザ研修室 <議題:2017年度通常総会について>